

**MDC-50ASS マルチデバイスコントローラ
取り扱い説明書**

(Ver.S0120-33)

武蔵株式会社
平成 17 年 07 月 21 日

改定履歴

No	発行日	バージョン	内容
1	平成 17 年 3 月	S0120-33	初版
2	平成 17 年 7 月	S0120-33	STL/VAR スイッチ表記入れ替え（外観図）

機器構成

MDC-50ASS	本体
MRC-10400	PARA REMOTE PANEL

MDC-50ASS は、VTR のみの制御になります。ディスクソフトには対応していません。
VTR ソフトは VTR のみの制御になります。

MDC-50ASS は MRC-10400 (PARA REMOTE PANEL) と必ず接続してご使用下さい。
接続方法は PARA REMOTE PANEL の取扱説明書をご参照下さい。

目次

1. 概要
2. 特徴
3. パネル各部の機能
 - 7セグメント LED 表示部
 - LED 表示切替スイッチ/制御ポート切替スイッチ
 - 液晶表示部
 - 各種スイッチ部
 - テンキー部
 - 制御ポート切替スイッチ
4. 背面パネル各部の名称
5. 機能と操作方法
 - 5.1 CUE 操作方法
 - 5.1.1 CUE の登録
 - 5.1.2 CUE の呼び出し
 - 5.1.3 CUE の修正
 - 5.1.4 CUE の消去
 - 5.1.5 CUE の SAVE
 - 5.2 GOTO 機能
 - 5.3 TML 機能
 - 5.4 複数台の同時 記録再生 操作方法
 - 5.5 簡易編集機能 操作方法
6. GPI 機能と操作方法
 - 6.1 機能説明と設定方法
 - 6.2 GPI ピンアサイン詳細
 - 6.3 設定例
7. メニュー設定及び操作方法
 - 7.1 メニュー - の操作方法
 - 7.2 メニュー一覧
 - 7.3 エラー表示
8. 仕様詳細
9. 外形寸法

MDC-50ASS マルチデバイスコントローラ

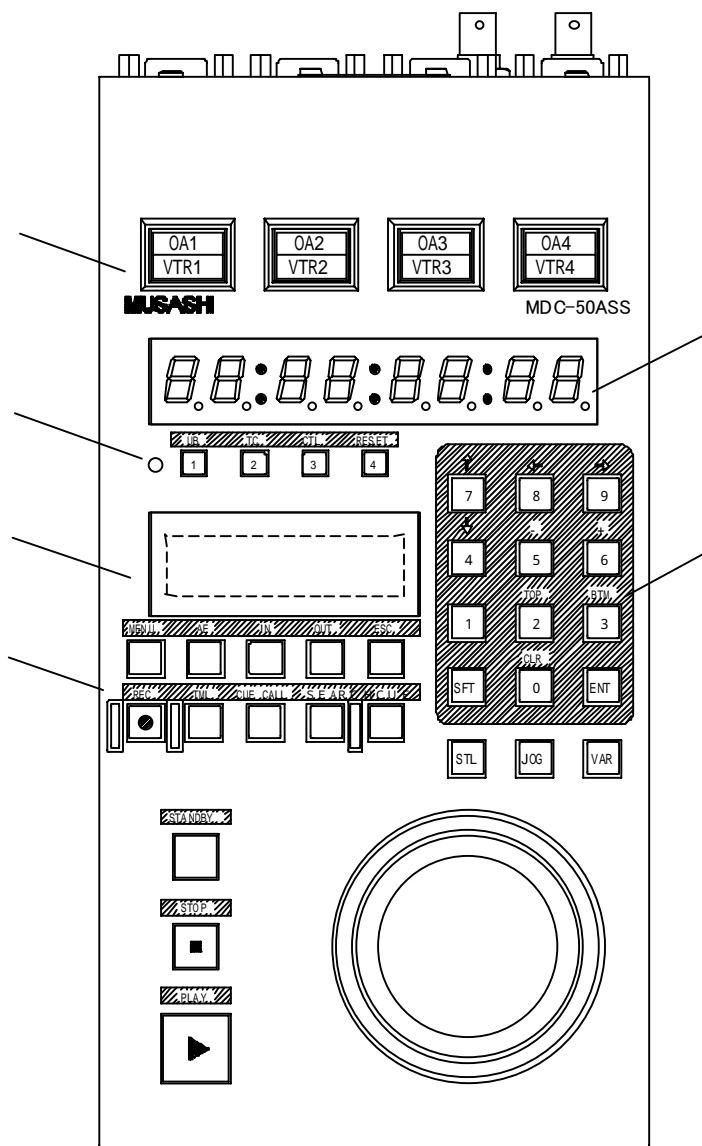
1.概要

MDC-50ASS は、VTR のリモートコントロールを行なう装置です。
PLAY/ STOP/REC/ST-BY/JOG/SHUTTLE 等の制御を RS-422 により行ないます。
制御ポートは 4 ポートあり、切替により 4 台の VTR を制御できます。
JOG/SHUTTLE ダイアルを備え編集点の確認等が容易に行なえます。
また、タイムコードを利用した CUE 登録が可能で迅速な番組の頭出しが可能です。

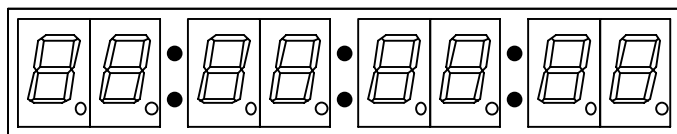
2.特徴

- 見やすい7セグメントLED TC、UB、CTL の表示
- 簡単な CUE 登録と CUEUP 操作
- 4 ポートを切り替えて制御できます。
- 1 ポートあたり CUE MODE 1 700 個, CUE MODE 2 90 個, TML MODE 700 個の CUE 登録が可能です。
- テンキーによるタイムコードをダイレクトに打ち込みが可能
- 同時 REC/ PLAY/CUE UP が可能 (調相はしていません。)
- 液晶表示によるメニューで多彩な機能を実現。
- JOG/SHUTTLE ダイアルを備え CUE 点の確認等が容易
- GPI に PARA REMOTE PANEL を接続する事により外部から PLAY/STOP/REC させることが可能です。

3. パネル各部の機能



7セグメントLED表示部



8桁の7セグ赤色LEDを配置し、RS-422にて読み取った現在値のUB、TC、CTLの各データを切替により表示します。

切替は表示器の下に配置されたスイッチで行ないます。

CTL表示時は、RESETスイッチを押すことにより0リセットされます。

また、メニュー”C00B1:CTL DSOMOD”により24H/12H表示の切替が出来ます。

TCの設定(VITC,LTC,AUTO)は、VTRの設定によります。

-1 LED表示切替スイッチ / 制御ポート切替スイッチ



LED表示部の表示内容を変更します。UB表示、TC表示、CTL表示の各スイッチとCTL表示時のRESETスイッチの4つスイッチがあります。

また、本スイッチは制御ポート切替えスイッチと兼用している為、

SFTスイッチを押すと制御ポート切替えが可能になります。

<表示の切替>

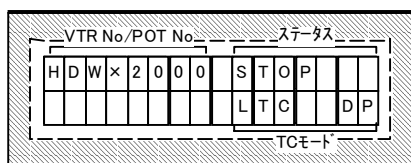
通常表示の時、“LED表示切替えスイッチ”と“制御ポート切替えスイッチ”の表示の切替えが可能です。

メニュー - 一覧のCONSOL-SelSwModを参照して下さい。

-2 リセットスイッチ

- ハードリセットをするときに押下します。

液晶表示部



16桁2行のバックライト付き液晶表示器を使用し、メニュー、ステータス、入力データ等の表示を行ないます。

各種スイッチ部

-1 メニュースイッチ



本スイッチ点灯中はメニュー - モードとなり、液晶表示にメニューが表示されます。再度押すと通常モードになります。

-2 AE スイッチ

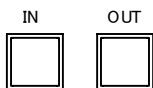


本スイッチ点灯中は簡易編集モードとなり、簡易編集が可能です。

再度押すと通常モードになります。

簡易編集の操作方法は、5 . 5 項を参照して下さい。

-3 IN スイッチ/OUT スイッチ



本スイッチは、簡易編集モードと T M L モードの時の TC (または CTL) データを登録するスイッチです。

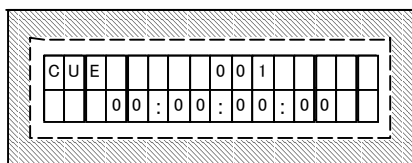
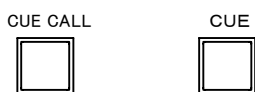
本スイッチ点灯時は、T C データが一時的に登録されます。再度押すと押した時間が再登録されます。

-4 ESC スイッチ



メニュー操作時に現在入力中のモードを解除し、1 つ前の状態に移行します。各モードをぬけるときに使用します。

-5 CUEスイッチとCUE CALLスイッチ



CUEスイッチ...CUEを登録するボタンです。

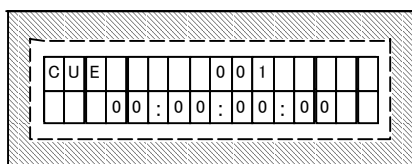
CUEスイッチを押すとCUEが登録され液晶表示部で確認する事が可能です。

CUE CALLスイッチ...本スイッチ点灯中はCUEモードです。

CUEスイッチを押すと自動的に点灯してCUEモードに入ります。再度、本スイッチを押すと通常モードになります。

詳細はCUE操作方法を参照して下さい。

-6 SEARCHスイッチ



SEARCH



液晶表示器に表示したTCデータへの頭出しをが可能です。

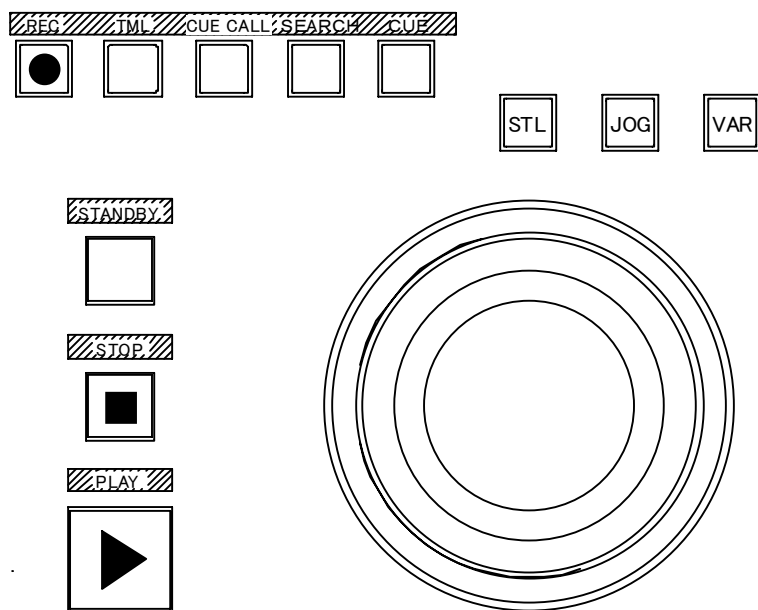
-7 TMLスイッチ



本スイッチ点灯中は、TMLモードになります。

TMLモードとはIN/OUTスイッチで登録したTCデータの間を再生します。詳細はTML機能を参照して下さい。

-8 REC、STOP、PLAY、STANDBY、VAR、JOG、STL、各スイッチ部



STANDBY スイッチ

スタンバイ制御を行ないます。

ST-BY スイッチを押すと ST-BY ON になります。

SHIFT + ST-BY スイッチを押すと ST-BY OFF になります。

また、メニュー "S00B8:StbySwMod" により、ST-BY スイッチを押す度に ON/OFF (トグル動作) させることが可能です。

REC スイッチ

REC + PLAY で REC を開始します。

本スイッチのみ押下すると E E モードになります。

STOP スイッチ

STOP 動作します。

制御ポート切替スイッチ + STOP で VTR のテープを EJECT することが可能です。(VTRのみ)

EJECT を使用する場合は MENU の PortSel に設定することを推奨します。

PLAY スイッチ

PLAY を開始します。

VAR/JOG/STL スイッチ

VAR、JOG、STL は、ジョグ/シャトルダイヤルの動作モードを決め、ダイヤルの操作により VTR を制御します。

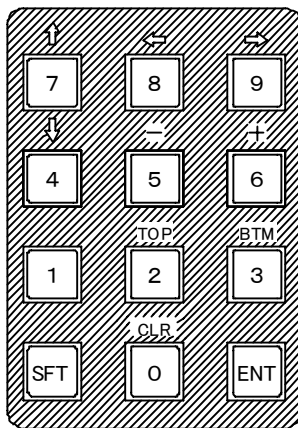
メニューにより禁止がかけられます。(メニューJog/ShtiDis)

JOG/SHUTTLE ダイヤル

JOG、SHUTTLE、VAR、の各制御を行ないます。ダイヤルを押すことにより JOG/SHUTTLE の切替えは、スイッチ操作無しでも行なえます。

メニューにより禁止がかけられます。(メニューJog/ShtiDis)

テンキー部



数値データの入力、CUE 点の呼び出し、メニュー時の操作、等の機能を有します。通常は、ボタンに表示されているものが有効になります。SHIFT ボタンを押すとボタン上部に表示されているものが有効になります。

MENU/AE/CUE/TML モード時は SHIFT 状態が保持されます。もう一度 SHIFT ボタンを押すと解除されます。

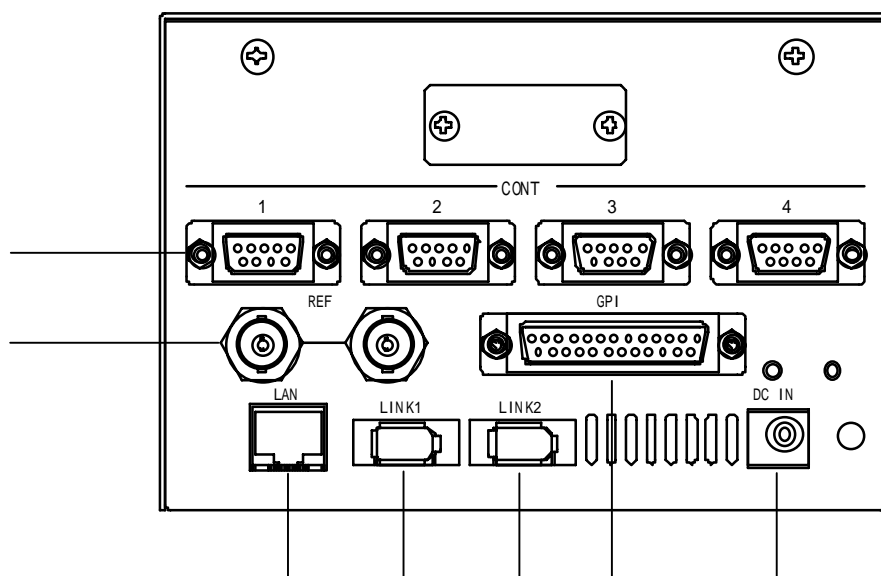
OA TALLY 表示 / 制御ポート切替スイッチ



PARA REMOTE PANEL の TALLY IN に外部からの OA TALLY が入力されると、OA ランプが点灯します。

また、本スイッチを押すことにより制御ポートを切替えることができます。

4. 背面パネル各部の名称



CONT (Dsb9F 座コネクタ) × 4

RS-422 制御 VTR と接続します。

RS-422 を 4 ポート使用することが可能です。

REF (BNC コネクタ)

NTSC 同期信号を入力します。(ループスルー付き)

LAN (RJ45 用モジュラーコネクタ)

パソコンと接続してバージョンアップ等に使用します。

LINK1/LINK2

未使用

GPI (Dsb25F 座コネクタ)

メニューにより設定します。

DC IN

DC 電源を接続します。

故障の原因となりますので専用のACアダプターを使用して下さい

5. 機能と操作方法

5.1 CUE 操作方法

VTR などのタイムコードを MDC-50ASS に記憶させ、頭出しを行なうことが可能です。
(以後 CUE と呼ぶ)登録方式として下記 2 つの方式がありメニューの設定により切替が可能
可能です。 設定はメニュー一覧の CONSOLE-DefCeumodeSel を参照して下さい。

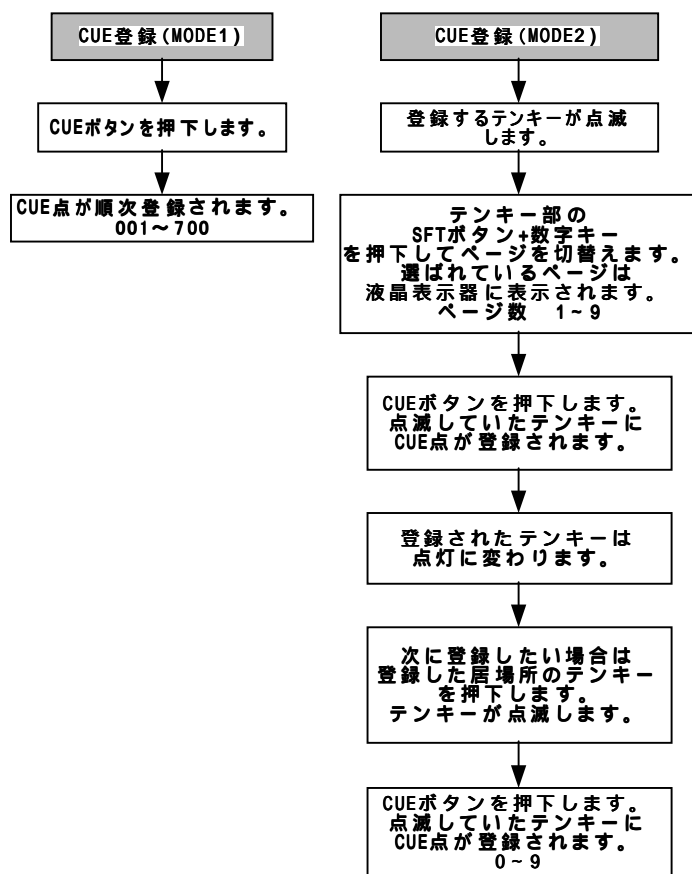
MODE1...CUE ボタンを押下すると CUE が登録されます。(各ポート 700 個)

MODE2...CUE をテンキーに登録することが出来ます。また、SFT+テンキー
(1 から 9) でページを切替えることが出来ます。

(各ポート 90 個) ページ表示は、液晶表示部に表示されます。

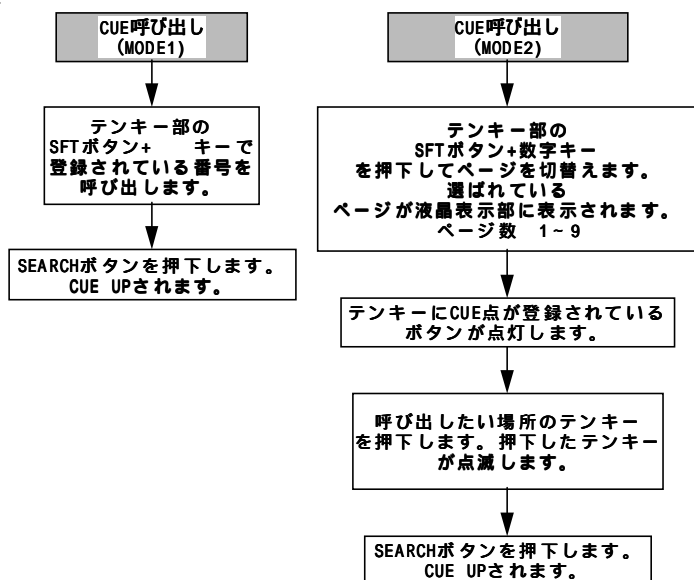
5.1.1 CUE の登録

VTR を REC または、PLAY させ CUE 点を登録させます。CUE ボタンを押下すると CUE 点が登録され、CUE モードに入ります。CUE モードに入ると CUE CALL ボタンが点灯します。CUE モードを出る場合は、ESC ボタンを押下するか CUE CALL ボタンを押下して下さい。他のモードに入る場合は、必ず CUE モードを出てから他のモードに入ってください。



5.1.2 CUE の呼び出し

CUE の呼び出しは、SEARCH ボタンで呼び出す方法と、テンキーの SFT+ / でも SEARCH ボタン同様 CUE の呼び出しが可能です。(メニュー設定による)
CUE モードに入ると SFT キーが保持されます。



5.1.3 CUE の削除

CUE データが登録されているテンキーを押すと液晶ディスプレイ上に登録されたデータ(TC)が表示されます。その時点で SHIFT を押しながら 0 (CLR) ボタンを押すとそのデータが削除されます。

5.1.4 CUE の修正

修正したい CUE 点を CUE UP します。PLAY 側を選択して、JOG/SHTL 等を使って CUE 点を探します。CUE 点が決まったら SHIFT + CUE ボタンを押下します。CUE 点が修正されます。

CUE モードに入っている時は、SFT ボタンが点灯し保持されています。
CUE の修正を行なう場合は、SFT ボタンが点灯していても SFT ボタンを押下しながら CUE ボタンを押下してください。

メニューの CueInsMod”設定が OVW になっているときのみ上書きが可能です。

Mod1 の時 CueInsMod を参照して下さい。

Mod2 の時 CueAutoIns を参照して下さい。

5.1.5 CUE の SAVE

電源を切る場合登録した CUE 点等をセーブして残しておきたいときは、電源を切る前にメニューのデータセーブに入ってセーブ作業をして下さい。

設定はメニュー一覧の CONSOLE の SaveEve&Cue で行って下さい。

5.2 GOTO 機能

テンキーでタイムコードを打ち込み SEARCH ボタンを押すとそのタイムコードの位置に頭出しします。

CUE MODE に入っていないことを確認して下さい。

5.3 TML 機能

CUE 点を IN 点と OUT 点で登録するモードです。

VTR を REC または、PLAY などさせ CUE 点 IN/OUT を登録させます。TML ボタンを押下すると TML モードに入ります。IN/OUT ボタンを押下し、IN 点と OUT 点を決め ENT ボタンで決定します。TML モードを出る場合は、ESC ボタンを押下するか TML ボタンを押下してください。他のモードに入る場合は、必ず TML モードを出てから他のモードに入ってください。再生は、テンキーの / で CUE 点を呼び出し、SEARCH ボタンで CUE UP し、PLAY ボタンで IN 点から OUT 点まで再生します。

IN 点から OUT 点までの再生は PLAY ボタンを押した時のみになります。

VAR/JOG/STL では OUT 点で止まりません。

IN/OUT 登録機能など OUT 点で STOP させる機能を利用される場合は、本機に REF を入力して下さい。REF が無いと停止位置がずれる場合があります。また、422 メニューの "StopTmg" と "StillTmg" を調整して、OUT 点ジャストで停止する様にして下さい。

"StopTmg"は、"StopCmdSel" が "Stop" の設定の場合に関係します。

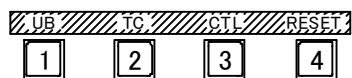
"StillTmg"は、"StopCmdSel" が "Stop"以外の設定の場合に関係します。

なお、"StillTmg"は、"StopCmdSel" を "SHTL ~"、"JOG ~"、"VAR ~"、と変更した場合は設定しなおす必要があります。(大体の VTR は同じで済むと思います)

テンキー「 」ボタンで IN に CUE UP 「 」ボタンで OUT に CUE UP します。(MENU 設定 lf/RtCupEna を参照して下さい。)

5.4 同時記録再生機能

メニューの設定をすることにより、設定されたポートが同時に REC/PLAY/CUE UP します。ポートの選択方法は、ポート選択ボタンで同時動作させたいポートを選択（点灯）させ、REC/PLAY/CUE UP の操作を行ないます。



メインメニュー**CONSOLE**の**"PoartCtMode"**を**"ParaSel"**に設定します。

PORT ボタン 5 秒押下してマスターになる VTR を選択します。

選択した PORT ボタンが点滅します。

同時に REC/PLAY/CUE UP させたい VTR の PORT 選択ボタンを押下します。選択したボタンが点灯します。

REC/PLAY/CUE UP 操作を行なうと選択された VTR が同時に動作を開始します。

基本操作は、前に記載している操作と同じです。

CUE UP に関して、メインメニュー**CONSOLE**の**"ParaSchMod"**で、マスターのタイムコードで一斉 CUE UP するか、あらかじめ各ポートで登録している CUE 点を CUE 番号で一斉 CUE UP するか設定できます。

このモードを使用するときは、REF を入れてください。

5.5 簡易編集機能 操作方法

• EDIT 方法

2 台の VTR を使って編集を行なうときに使用します。

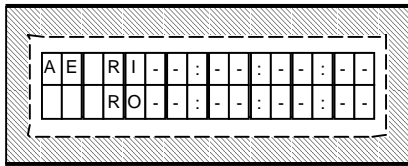
• VTR 同士の編集

メニューにより RS422 ポートの REC/PLYA の設定を行ないます。

AE ボタンを押下し点灯させ編集モードに入ります。

ポートセレクトボタンで REC を選択します。

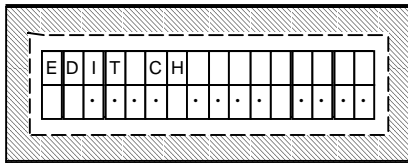
液晶表示に



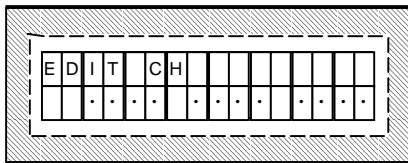
と表示されます。

IN/OUT ボタンで IN 点と OUT 点を決めます。

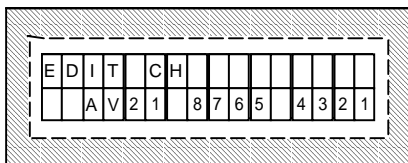
SFT+ キーで EDIT CH が表示されます。



SFT+ キーで液晶表示機の矢印が出て移動します。



SFT+ + - キーでアッセンブルモード編集するかインサートモード編集で編集するかを選択します。



A . . . アッセンブル編集

V . . . VIDEO (インサート編集)

2 . . . AUDIO CH2

1 . . . AUDIO CH1

8 . . . DA8CH

7 . . . DA7CH

6 . . . DA6CH

5 . . . DA5CH

4 . . . DA4CH

3 . . . DA3CH

2 . . . DA2CH

1 . . . DA1CH

同様に、ポートセレクトボタンで PLAY を選択して IN/OUT ボタンで IN 点と OUT 点を決めます。

REC ボタンを押下するとプレビューします。

SFT+ REC ボタンで EDIT を開始します。

SFT+ PLAY ボタンでレビューします。

EDIT モードを抜ける場合はもう一度 AE ボタンを押下してボタンを消灯させて下さい。

VTRで編集を行なう場合メニューRS-422 PORT の"EdtPrsStsLen"を2にしてください。

VTR側のオートエディット機能は使用していません。

6 . G P I 機能と操作方法

6 . 1 機能説明

本機は、GPI と PARA REMOTE PANEL を接続することにより外部から制御が可能です。詳細は PARA REMOTE PANEL の取扱説明書を参照下さい。

6 . 2 ピンアサイン詳細

GIP IF (Dsub 25pin メス座)

1	NC
2	NC
3	OUT1
4	OUT3
5	OUT5
6	OUT7
7	GND
8	GND (KEY)
9	IN1
10	IN3
11	IN5
12	IN7
13	NC
14	NC
15	OUT0
16	OUT2
17	OUT4
18	OUT6
19	GND
20	GND
21	IN0
22	IN2
23	IN4
24	IN6
25	NC

6.3 設定方法詳細

入出力ピンの設定

必ず”GPI”メニューの”InpLw”と”InpHi”及び”OutLw”と”OutHi”を **Disable** に設定して下さい。

“ InpMode ” 及び “ OutMod ” は必ず **Opt** に設定して下さい。

OA INHI 機能

OA TALLY 入力が入った時下記のスイッチが操作出来なくなります。

OA INHI を使用するときは、メインメニューConsole の”OA-Inhi”を ON にしてください。

OA 中に効かないボタン一覧

・ REC
・ PLAY
・ STOP
・ JOG ダイアル
・ VAR
・ JOG
・ STL
・ SEARCH
・ AE

その他の操作は可能です。

OA が来ているときに CUE の登録はできますが、CUE UP 制御はできません。
TC 表示切替は可能です。

7. メニューの設定及び操作方法

7.1 メニューの操作方法



MENUモードに入るスイッチです。再度押下するとメニューモードが解除されます。

CUE MODEに入っているときはMENUボタンを押下してもメニューに入れません。ESCボタンでCUE MODEを抜けてからMENUボタンを押下して下さい。

メニューの操作はテンキー部の SFT ボタン+ / (項目移動)

/ (カーソル移動) + / - (設定移動) キーを使用してメニューの移動と変更を行ないます。MENU ボタンを押下すると SHIFT ボタンが点灯し SHIFT 状態が保持されます。もう一度 SHIFT ボタンを押下すると解除されます。次に SHIFT ボタンを押下すると、SHIFT 状態が保持されます。

メインメニュー

- > CONSOLE
- > RS-422 PORT
- > GPI
- > LAN/LINK
- > SYSTEM
- > EXTENSION-1(ディスクソフトのみ表示)

SFT ボタン+ / (項目移動)で項目を移動して ENT ボタンを押下します。

メインメニューからサブメニューに移ります。(メニュー一覧参照)

サブメニューに入り SFT ボタン+ / (項目移動)で項目を移動し、

+ / - (設定移動) ボタンで設定を移動します。ENT ボタンを押して設定変更します。

7.2 メニュー一覧

先頭が"\$ ~"となっている項目は、その変更を有効にするには、電源再投入の必要があります

***は、デフォルト設定です。

項目名	サブ項目	設定
CONSOLE	SaveEve&Cue	NoSave 保存しない。 Save 保存する。 登録した CUE 点を保存する/しないの設定
	EraseEve&Cue	NoErase 削除しない AREA-A ポート 1 を削除する。 AREA-B ポート 2 を削除する。 AREA-C ポート 3 を削除する。 AREA-D ポート 4 を削除する。 ALL すべてのポートを削除する。 登録した CUE 点を削除する設定
	OA-Inhi	OFF OA 中でも操作 (制御) が可能です。 * ON OA 中、操作 (制御) を禁止します。 GPI を使って OA 中の操作を ON/OFF します。
	Preroll	00:00 CUE UP 時のプリロール時間を設定します。 / でカーソルの移動 +/- で時間変更 00:00 ~ 59:29 まで
	\$DefCueModeSel	Mode1 通常 CUE 登録 * Mode2 テンキーボタンに割り当て登録 起動時の CUE MODE 選択状態を設定します。
	CueInsMod	APEND CUE 登録したときに最後に登録されます * INS 呼び出した CUE の前に登録されます。 * OVW 呼び出した CUE に上書きされます。 CUE を呼び出した後の CUE 登録動作の選択をします。
	AutoCueup	DISABLE 機能しない。 * ENABLE 機能する。 CUE を呼び出したときに SEARCH ボタンを押さなくても CUE UP するかを選択します。
	CueAutoInc	* DISABLE 上書き登録 Inc 上書き登録後、次に進みます。 * Search 次の空きを探して登録します。 CUE MODE 2 選択時に、CUE 登録割り当ての方法を設定します。
	AfterCueup	DISABLE StopComdSel で設定した状態になります * JogDial JOG 状態になります。 * ShtDial SHTL 状態になります。 * VarDial VAR 状態になります。 CUE UP 後の状態設定。
	SchEnaMod	Normal Rec 中は CUE UP 禁止 * Rec Rec 中でも強制 Cueup 許可 Rec 中に CUE UP させるかの設定

項目名	サブ項目	設定
CONSOLE	ParaSchMod	Tc マスターPort の Tc 値 で 一斉 Cueup * CueNo マスターPort の Cue 番号で (各 Port の Bank 別の同 Cue 番号 Tc 値で) 一斉 Cueup ParaSel モード使用時の CUE UP 方法の設定
	CtlDspMod	24H 24H表示します。 * 12H ±12H表示します。 CTL カウントを 24 時間表示にするか 12 時間表示にするかを選択します。
	CtlRstsetMod	CmdSend CTL RESET コマンドを送信し、 デバイスの CTL 表示と MDC の表示を リセットします。 * Emu MDC の表示のみを 0 リセットします。 (デバイスの CTL はリセットされません。) CTL Reset の方法
	CtlPresetTc	00:00:00:00 ~ 23:59:59:29(Def=00:00:00:00) CTL Reset 時の PresetTc. <ul style="list-style-type: none"> ・ 但し "CtlResetMod" の設定に依存. ・ "CmdSend": コマンド送信でプリセット. ・ "Emu": MDC50ASS 内部計算で見かけ上のプリセット
	SelSwMod	TcTypeSel 通常 TC 切替えします。 * PortSel 通常ポート切替えします。 2-2 項 LED 表示切替スイッチ / 制御ポート切替スイッチの切替を通常 LED 表示切替えるか制御ポートを通常切替えるかを選択します。
	StbySwMod	ON OFF するときは SHIFT + ST-BY スイッチで ST-BY OFF になります。 * ON/OFF ON/OFF が ST-BY スイッチでトグル動作になります。 ST-BY スイッチの動作を選択します。
	Lf/RtCupEna	* DISABLE 機能しない。 ENABLE 機能する。 テンキー部の左右矢印キーで CUE UP させるか、させないかの設定。
	PushDis	Normal すべて機能します。 * Push JOG ダイアルのプッシュを無効にする。 * All すべて機能しない。 JOG ダイアルのプッシュで JOG/SHTL 及び JOG/SHTL ボタンの切替えの ON/OFF の設定します。
	SpdOpeChgMod Pt1	Normal 状態が繁殖されます。 * Mode1 状態が解除されます。 ポート 1 の VTR 等を単体で操作したとき MDC-50ASS の SHTL/JOG/VAR 選択状態設定します。

項目名	サブ項目	設定
CONSOLE	SpdOpeChgMod Pt2	Normal 状態が繁殖されます。 * Mode1 状態が解除されます。 ポート 2 の VTR 等を単体で操作したとき MDC-50ASS の SHTL/JOG/VAR 選択状態設定します。
	SpdOpeChgMod Pt3	Normal 状態が繁殖されます。 * Mode1 状態が解除されます。 ポート 3 の VTR 等を単体で操作したとき MDC-50ASS の SHTL/JOG/VAR 選択状態設定します。
	SpdOpeChgMod Pt4	Normal 状態が繁殖されます。 * Mode1 状態が解除されます。 ポート 4 の VTR 等を単体で操作したとき MDC-50ASS の SHTL/JOG/VAR 選択状態設定します。
	RecStopMod	Normal Stop ボタンで停止。 * Sft&Stop Sft+ Stop ボタンで停止。 Rec の停止操作方法を設定します。
	PoartCtlMode	Normal VTR の制御を行いません。 * ParaSel VTR ソフト使用時の SYNC REC/PLAY/CUE UP を行いません。 * Coupling ディスクレコーダーの撮って出しを行いません。 Coupling はディスクソフト使用時のみ設定できます。
	P1EvCueArea	AREA-A (CUE エリア 700 個) * AREA-B (CUE エリア 700 個) * AREA-C (CUE エリア 700 個) * AREA-D (CUE エリア 700 個) ポート 1 の CUE データの保管エリアを設定します (CUE MODE1)
	P2EvCueArea	* AREA-A (CUE エリア 700 個) AREA-B (CUE エリア 700 個) * AREA-C (CUE エリア 700 個) * AREA-D (CUE エリア 700 個) ポート 2 の CUE データの保管エリアを設定します。 (CUE MODE1)
	P3EvCueArea	* AREA-A (CUE エリア 700 個) * AREA-B (CUE エリア 700 個) AREA-C (CUE エリア 700 個) * AREA-D (CUE エリア 700 個) ポート 3 の CUE データの保管エリアを設定します。 (MODE1)
	P4EvCueArea	* AREA-A (CUE エリア 700 個) * AREA-B (CUE エリア 700 個) * AREA-C (CUE エリア 700 個) AREA-D (CUE エリア 700 個) ポート 4 の CUE データの保管エリアを設定します。 (CUE MODE1)

項目名	サブ項目	設定
CONSOLE	P1FlistArea	AREA-A (CUE エリア 700 個) * AREA-B (CUE エリア 700 個) * AREA-C (CUE エリア 700 個) * AREA-D (CUE エリア 700 個) ポート 1 の File List の保管エリアを設定します。 (TML MODE)
	P2FlistArea	* AREA-A (CUE エリア 700 個) AREA-B (CUE エリア 700 個) * AREA-C (CUE エリア 700 個) * AREA-D (CUE エリア 700 個) ポート 2 の File List の保管エリアを設定します。 (TML MODE)
	P3FlistArea	* AREA-A (CUE エリア 700 個) * AREA-B (CUE エリア 700 個) AREA-C (CUE エリア 700 個) * AREA-D (CUE エリア 700 個) ポート 3 の File List の保管エリアを設定します。 (TML MODE)
	P4FlistArea	* AREA-A (CUE エリア 700 個) * AREA-B (CUE エリア 700 個) * AREA-C (CUE エリア 700 個) AREA-D (CUE エリア 700 個) ポート 4 の File List の保管エリアを設定します。 (TML MODE)
	AE PreRolSec	"3 ~ 60 sec" (Def=5) 簡易編集機能での プリロール指定
	AE PstRolSec	"0 ~ 60 sec" (Def=5) 簡易編集機能での ポストロール指定
	AE Rec Port	Port1 * Port2 * Port3 * Port4 簡易編集機能での Rec ポート選択
	AE Play Port	* Disable * Port1 Port2 * Port3 * Port4 簡易編集機能での Play ポート選択
	P1RecFno	"0000 ~ 9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ディスクソフト使用時のみ
	P2RecFno	"0000 ~ 9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ディスクソフト使用時のみ
	P3RecFno	"0000 ~ 9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ディスクソフト使用時のみ

項目名	サブ項目	設定
CONSOLE	P4RecFno	"0000 ~ 9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ディスクソフト使用時のみ
	\$PnlMode	[Normal] MDC-50T 標準機能 * Mode1 パネルモード 1(操作パネル全部を他局に解放) * Mode2 パネルモード 2(TC7SEG 表示と Dial と J/S/V のみ自身で制御) 外部(PC)から制御を行なうときに使用します。 通常は設定を変えないでください。
	InitConfig	[NoInit] デフォルトしません。 * Port1 ポート 1 をデフォルトします。 * Port2 ポート 2 をデフォルトします。 * Port3 ポート 3 をデフォルトします。 * Port4 ポート 4 をデフォルトします。 * System システムをデフォルトします。 * ALL すべてデフォルトします。 ポート 1,2,3,4 は RS-422 メニューの Config をデフォルトにします。System は RS-422 以外の Config をデフォルトにします。
	#CfgBnkLd	[Non] バンク呼び出しをしません。 * Bank1 バンク 1 を呼び出します。 * Bank2 バンク 2 を呼び出します。 * Bank3 バンク 3 を呼び出します。 * Bank4 バンク 4 を呼び出します。 * Bank5 バンク 5 を呼び出します。 * Bank6 バンク 6 を呼び出します。 * Bank7 バンク 7 を呼び出します。 * Bank8 バンク 8 を呼び出します。 メニュー設定を登録したバンクを呼び出します。
RS-422 PORT	PortName Pt1 ~ Pt4	8 文字 (Def="VTR-1 ~ 4") ポート名称
	PrtclTyp Pt1 ~ Pt4	[9PIN] VTR プロトコル * Odetics ODETICS プロトコル * MAV SONY ディスクプロトコル(MAV555/777) プロトコル選択"Odetics""MAV"ディスクソフト使用時のみ設定できます。 " MAV " は MAV555/777 を制御可能にします。
	FrameType Pt1 ~ Pt4	[NTSC-DF] * NTSC-NDF フレームタイプの設定
	DF-Mode Pt1 ~ Pt4	[Device] 機器からの TC アンサーで DF/NDF を動的に処理 * Fix "FrameType" の設定で固定扱い NTSC での DF/NDF 機器追従指定 一部の機器で TC アンサーの DF-bit が立たない場合のみ "DF-Mode"="Fix"とし"FrameType" を希望の選択にする

項目名	サブ項目	設定
RS-422 PORT	StbyOffTimer Pt1 ~ Pt4	DISABLE 機能しない。(VTR 設定で動作) * 30sec 30 秒 * 60sec 60 秒 * 03min 3 分 * 05min 5 分 * 08min 8 分 * 15min 15 分 * 30min 30 分 ENDLESS スタンバイ OFF しない スタンバイ OFF タイマー設定 (STOP 操作時送信する) (ポート 1 ~ 4)
	StbyOnMod Pt1 ~ Pt4	* Normal StandbyOn コマンドのみ送信 OffTmrReset Standby Off Timer の Reset コマンド も送信 (SONY 機器向け) STBY ボタン (ON 時) の時指定
	StopCmdSel Pt1 ~ Pt4	STOP ストップ状態 * Var Still バリヤブル状態 * Jog Still ジョグ状態 * Shuttle Still シャトル状態 STOP ボタンを押したときの状態設定です。
	StepCmdTyp Pt1 ~ Pt4	Normal * Doremi Step コマンドの選択現在の所, ドレミのみ対応
	ShtlMaxTyp Pt1 ~ Pt4	* × 4 * × 8 * × 16 * × 32 * × 50 * × 60 * × 100 * × 200 * MAX FF/FR SHTL 最大スピードの設定です。
	DvarMaxType Pt1 ~ Pt4	* × 4 * × 8 * × 16 * × 32 * × 50 * × 60 * × 100 * × 200 * MAX FF/FR DialVar 最大スピードの設定です。

項目名	サブ項目	設定
RS-422 PORT	CueupCmdTyp Pt1 ~ Pt4	Normal * Doremi Cueup コマンドの選択ドレミ使用時のみ設定を”Doremi” にしてください。
	CueupTcType Pt1 ~ Pt4	TC パネルの TC 選択ボタン=TC 時のみ CUE 等の 登録が 可となる * CTL パネルの TC 選択ボタン=CTL 時のみ CUE 等の 登録が 可となる * Auto パネルの TC 選択ボタン=TC/CT 時どちらでも CUE 等の登録が 可となる * Disable パネルの TC 選択ボタン=TC/CTL 時どちらで も CUE 等の登録が可となる。 CUE 等の登録 TC 種別の指定 (Cueup コマンド送信時の "TimerModeSelect"コマンド(VTR コマンド)の送信指定)
	RecStsLen Pt1 ~ Pt4	0~15 ステータスリクエストの時間を設定します。
	ReqTcMode Pt1 ~ Pt4	AUTO VTR 設定に依存します。 * LTC LTC を表示します。 * VITC VITC を表示します。 LED 表示切替スイッチ部の TC を選んだときの表示する タイムコードを選択します。
	UbitSnsEna Pt1 ~ Pt4	* Disable 機能させない。 Enable 機能させる。 TC 切替の U-Bit センスを許可するかしないか
	FnamSnsTyp Pt1 ~ Pt4	Normal * Doremi Disk 機器向けの ファイルセンスコマンド の選択 (ドレミのみ対応)
	SdskRecDur Pt1 ~ Pt4	"00:00:00:00 ~ 23:59:59:29" (Def=01:00:00:00) Disk 機器向けの 記録ファイルサイズ の指定 ("PrtclTyp"="SonyDisk"で MAV の場合のみ 有効)
	SdskLoopRec Pt1 ~ Pt4	* ON OFF Disk 機器などの LOOP 記録設定。 ("PrtclTyp"="SonyDisk"で MAV の場合のみ 有効)
	RecEna Pt1 ~ Pt4	* DISABLE REC を機能させない。 ENABLE REC を機能させる。 REC 動作を禁止するか選択します。
	LtcGenTcMod	Disable 何も送信しない * Device 機器側のメニュー設定に従う * LtcReGen 再生 LTC を元に REGEN するモードにする 機器側の LtcGen の Ltc 生成モード
	LtcGenUbMod	Disable 何も送信しない * Device 機器側のメニュー設定に従う * LtcReGen 再生 LTC を元に REGEN するモードにする 再生 LTC を元に Ltc-Ubit を REGEN するモードにする

項目名	サブ項目	設定
RS-422 PORT	RecLtcSel	Disable 何も送信しない * Device 機器側のメニュー設定に従う * IntrLtc 機器側の内部 LTC を記録する 上記3項目は、機器によって動作が異なるか受けられない場合がある。ほとんどの場合、全て"Disable" にして機器側で設定してもらうとするか、 "LtcGenTcMod=LtcReGen", "LtcGenUbMod=LtcReGen", "RecLtcSel=IntrLtc" と設定して、機器側の再生 LTC を REGEN した LTC を記録するモードにする。
	EdtPrsStsLen Pt1 ~ Pt4	"0 ~ 7" (Def=0) "EDIT PRESET SENSE" コマンドのセンス長さ指定 ・機器側の EDIT トラック設定状態のセンス長の指定 ・ASM, V, A1, A2, DA1 ~ 8 まで(一般的な VTR) なら 設定値は 2 ・現在の所, MAV の場合は 0(センス停止)とする。(MAV 依存)
	EditInOfst Pt1 ~ Pt4	"0 ~ 30 frame" (Def=5) EDIT-IN コマンドの送信タイミング指定 ・ほとんどの VTR は 5 ~ 10
	EditOutOfst Pt1 ~ Pt4	"0 ~ 30 frame" (Def=5) EDIT-OUT コマンドの送信タイミング指定 ・ほとんどの VTR は 5 ~ 10 で "EditInOfst" と同値の場合が多い
	EdtOffCmdSel Pt1 ~ Pt4	Edit-Off * Play EDIT-OUT 時の使用コマンド選択 (機器によっては, EDIT-OUT 出来るコマンドに制限があるのでその対策用)
	StopTmg Pt1 ~ Pt4	"0 ~ 99 frame" (Def=5) Dur 付きで Play する時などに使用される Stop コマンド送信タイミング パラメータ
	StillTmg Pt1 ~ Pt4	"0 ~ 99 frame" (Def=0) Dur 付きで Play する時などに使用される "Still" コマンド送信タイミング パラメータ ここで言う"Still"コマンドとは, Jog/Shtl/Var のスピード値を 0 にしたコマンド
	SycStartDly Pt1 ~ Pt4	"0 ~ 999 frame" (Def=5) 簡易編集機能での 調相制御パラメータ ・PLAY 送信のタイミングを調整するものであり, 最適値にすると, 開始後 速やかに調相完了となります。 ・デフォルト値を中心に, 調相開始後 速やかに調相完了となる値に 調整する. (約 3 ~ 10 の間)

項目名	サブ項目	設定
RS-422 PORT	SycGradeFrm Pt1 ~ Pt4	"0 ~ 99 frame" (Def=0) 簡易編集機能での 調相制御パラメータ ・ 調相完了判定用の調相精度の設定 ・ 特に旧式の機器でない限り 0 を指定
	SycPrm-1 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-2 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-3 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-4 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-5 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-6 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-7 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-8 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+1 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+2 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+3 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+4 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+5 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+6 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+7 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+8 Pt1 ~ Pt4	"SPED=00 ~ FF WAIT=00 ~ FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SioBaudRate	"9600 19200 38400" (Def=38400) SIO のボーレート
	SioDataBit	"7bit 8bit" (Def=8bit) SIO のデータビット
	SioParity	"pn po pe" (Def=po) SIO のパリティビット
	SioStopBit	"1bit 2bit" (Def=1bit) SIO のストップビット
	SioPinAsn	"RemOut RemInp" (Def=RemOut) SIO の Tx/Rx ピンアサイン

項目メモ	サブ項目	設定
RS-422 PORT	SioFrmTout	"0 ~ 999" (Def=5) SIO のフレーム通信タイムアウト 通常はデフォルトのまま
	SioChrTout	"0 ~ 999" (Def=15) SIO の受信キャラクター間タイムアウト 通常はデフォルトのまま
GPI	InpMode	* Disable GPI 入力禁止 * Thr PC など上位に対してスルーで通知 * CfgAsn 下記コンフィグ設定("InpLw/InpHi")に従い 内部で処理 (PLAY-C や STOP-C 他) GPI 入力の基本動作の設定 Opt 特注仕様用設定 (MDC-50ASS 設定)
	InpLw	Disable IN0-3 の GPI 入力を禁止します。 * OA-C IN0-3 が All ポート OA INHI 設定されます。 * STOP-C IN0-3 が All ポート STOP 設定されます。 * PLAY-C IN0-3 が All ポート PLAY 設定されます。 * REC-C IN0-3 が All ポート REC 設定されます。 * REM1-C IN0-3 がポート 1 に割り当て設定されます。 * REM2-C IN0-3 がポート 2 に割り当て設定されます。 * REM3-C IN0-3 がポート 3 に割り当て設定されます。 * REM4-C IN0-3 がポート 4 に割り当て設定されます。 GPI 入力 下位 4bit の用途 指定 "InpMode=CfgAsn"の時に本設定で動作する "REM1-4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に) STOP/PLAY/FR/FF に割り当てたもの
	InpHi	Disable IN4-7 の GPI 入力を禁止します。 * OA-C IN4-7 が All ポート OA INHI 設定されます。 * STOP-C IN4-7 が All ポート STOP 設定されます。 * PLAY-C IN4-7 が All ポート PLAY 設定されます。 * REC-C IN4-7 が All ポート REC 設定されます。 * REM1-C IN4-7 がポート 1 に割り当て設定されます。 * REM2-C IN4-7 がポート 2 に割り当て設定されます。 * REM3-C IN4-7 がポート 3 に割り当て設定されます。 * REM4-C IN4-7 がポート 4 に割り当て設定されます。 GPI 入力 上位 4bit の用途 指定 "InpMode=CfgAsn"の時に本設定で動作する "REM1-4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に) STOP/PLAY/FR/FF に割り当てたもの

項目名	サブ項目	設定
GPI	OutMod	<p>* Disable GPI 入力禁止</p> <p>* Thr PC など上位に対してスルーで通知</p> <p>* CfgAsn 下記コンフィグ設定("InpLw/InpHi")に従い内部で処理 (PLAY-C や STOP-C 他)</p> <p>Opt 特注仕様用設定 (MDC-50ASS 設定)</p> <p>* Test IN OUT テストモード</p> <p>GPI 出力の基本動作設定</p>
	OutLw	<p>Disable</p> <p>* OA-S</p> <p>* STOP-S</p> <p>* PLAY-S</p> <p>* REC-S</p> <p>* LevelL</p> <p>* LevelH</p> <p>* EventL</p> <p>* EventH</p> <p>GPI 出力下位 4bit の用途 指定 "OutMod=CfgAsn"の時に本設定で動作する "LevelL,LevelH,EventL,EventH"は今後のイベント GPI 制御用</p>
	OutHi	<p>Disable</p> <p>* OA-S</p> <p>* STOP-S</p> <p>* PLAY-S</p> <p>* REC-S</p> <p>* LevelL</p> <p>* LevelH</p> <p>* EventL</p> <p>* EventH</p> <p>GPI 出力上位 4bit の用途 指定 "OutMod=CfgAsn"の時に本設定で動作する "LevelL,LevelH,EventL,EventH"は今後のイベント GPI 制御用</p>

項目名	サブ項目	設定
LAN/LINK	IpAdrs	"192:168:001:240" (=Def) PC等とLANで接続した場合に必要に応じて設定
	IpMask	"255:255:255:000" (=Def) PC等とLANで接続した場合に必要に応じて設定
	\$UnitID	"1ID 2ID 3ID 4ID 5ID 6ID 7ID 8ID" (Def=1ID) MDC50ASS 自局の ID (デフォルトのまま使用してください)
	LanRspMod	Disable 通知しない * RtStsEna 周期ステータスのみ通知 (TimeCode など) * OpStsEna 操作イベントのみ通知 (キー操作など) * AllEna 全て通知 PCとLANで接続した場合のPCへのステータス通知モード PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LanRspUnt	"0 ~ " (Def=8) PCとLANで接続した場合のPC側の UnitId. (ステータスの送り先の指定として) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LanRtryCt	"0 ~ 30" (Def=10) LAN通信での送信リトライ数 現在の所デフォルトのまま (設置先のLAN環境によっては調整の必要有り) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LanRtryIv	"0 ~ 30" (Def=3) LAN通信での送信リトライ間隔 現在の所デフォルトのまま (設置先のLAN環境によっては調整の必要有り) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LnkRspMod	* Disable 通知しない * RtStsEna 周期ステータスのみ通知 (TimeCode など) * OpStsEna 操作イベントのみ通知 (キー操作など) AllEna 全て通知 PCと1394で接続した場合のPCへのステータス通知モード PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LnkRspUnt	"0 ~ " (Def=8) PCと1394で接続した場合のPC側の UnitId. (ステータスの送り先の指定として) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	\$LnkBusSpd	"100 200 400 " (Def=400) LINK通信スピード設定. 単位は bps (デフォルトのまま使用してください)
	\$LnkSchMod	Normal * Mode1 接続先ユニットの探索動作指定 (デフォルトのまま使用してください)

項目名	サブ項目	設定
LAN/LINK	\$LnkSchSec	"0 ~ 30 sec" (Def=3) 接続先ユニットの探索時間指定 (デフォルトのまま请使用してください)
	\$LnkPtDis	Normal DisPort1 DisPort2 DisAll LINK ポートのマスク指定 (デフォルトのまま请使用してください)
SYSTEM	VersionInfo	バージョンを表示します。
	MAC ADR	"000000.000000" MAC ADDRESS を表示します。
	ExtInfo	"P4,STD" と表示される。 50ASS にインストールされているファームの設定表示 "P4"使用可能なポート数が 4 個 "STD" VTR ソフトがインストールされている
	DIAG-REF1	Sts:03 Cnt:00 メンテナンスで使用します。
	#CfgBnkSv	[Non] バンク登録しません。 * Bank1 バンク 1 を登録します。 * Bank2 バンク 2 を登録します。 * Bank3 バンク 3 を登録します。 * Bank4 バンク 4 を登録します。 * Bank5 バンク 5 を登録します。 * Bank6 バンク 6 を登録します。 * Bank7 バンク 7 を登録します。 * Bank8 バンク 8 を登録します。 メニュー設定を登録したバンクを登録します。
EXTENSION-1	P1-RecCplg	"0001" ポート 1 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します。 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照

項目名	サブ項目	設定
EXTENSION-1	P2-RecCplg	“0010” ポート 2 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します。 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P3-RecCplg	“0100” ポート 3 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します。 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P4-RecCplg	“1000” ポート 4 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します。 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P1-PlayCplg	“0001” ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します。 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P2-PlayCplg	“0010” ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します。 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P3-PlayCplg	“0100” ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します。 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P4-PlayCplg	“1000” ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します。 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照

EXTENSION-1 はディスクソフト使用時のみ表示されます。

7.3 エラー表示

エラー表示

エラー表示	内容
“CUE BANK FULL!”	CUE 登録を行なおうとしたときに、BANK バッファがいっぱいの時に表示されます。
“PLEASE CHANGE”, “DISPLAY TC” “PLEASE CHANGE”, “DISPLAY CTL”	CUE CALL, CUE, AE 機能呼び出し時に、メニューの制御 TC 選択と表示の TC 種別が異なっている場合、表示 TC の切替を促すメッセージです。
“PLEASE CHECK”, “EDIT PRESET”	AE 機能呼び出し時に、まだ、メニューで EDIT PRESET されていないときに表示されます。
“CUE-CALL”, “EMPTY”	CUE-CALL 機能呼び出し時に、CUE BANK バッファが空の時に表示されます。

エラー表示

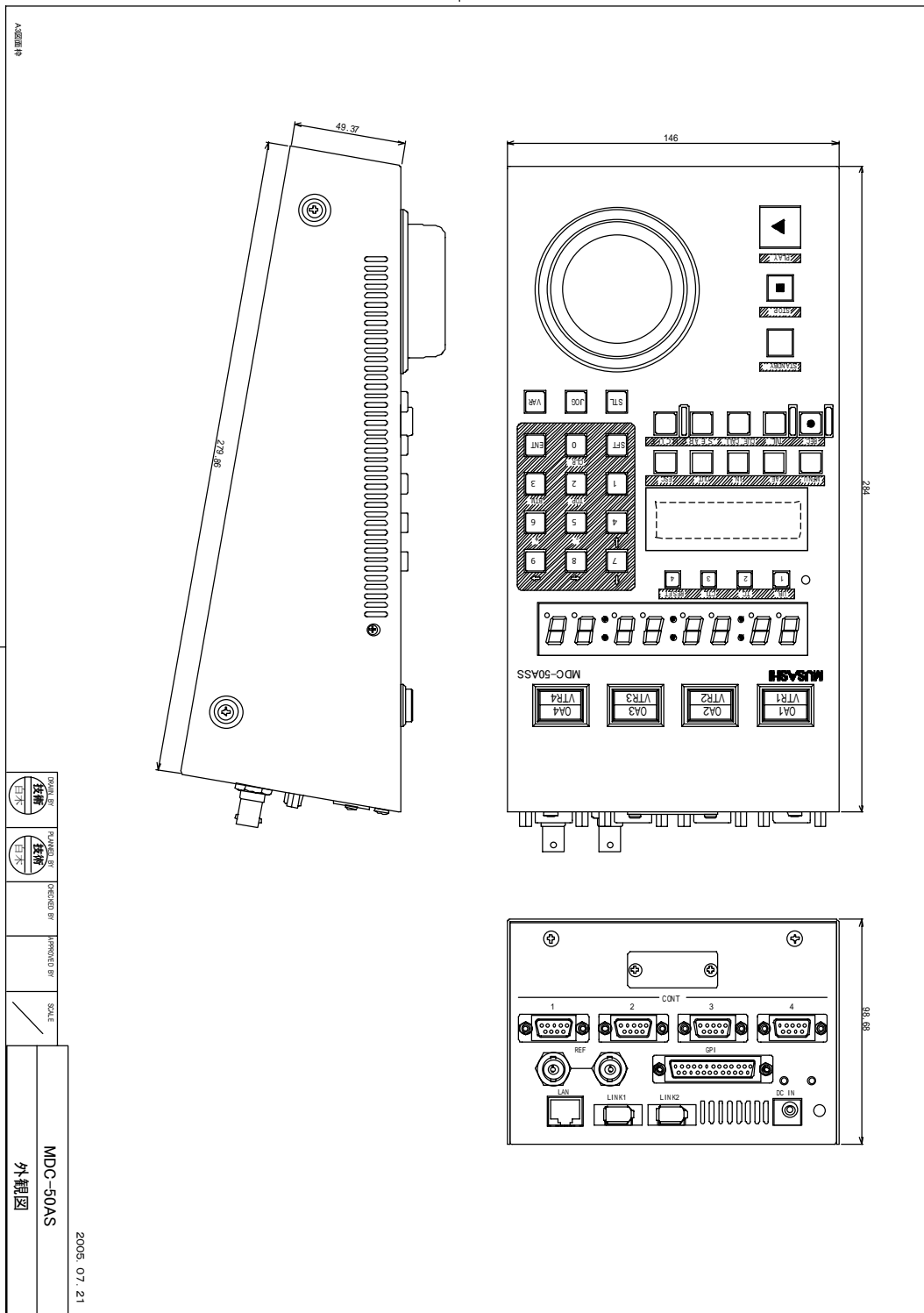
エラー表示	内容
“E0001:APLPRG Er!”	外部フラッシュメモリ上のプログラムデータの異常
“E0003:LANC Err!”	LAN コントローラの異常
“E0007:SRAM Err!”	SRAM の異常
“E0009:HWCFG Err!”	外部フラッシュメモリ上の MAC アドレスデータ等の異常
“E000A:SWCFG Err!”	外部フラッシュメモリ上のプログラムデータ等の異常
“E000B:SYSCFG Er!”	外部フラッシュメモリ上のコンフィグデータの異常
“E000C:EVDT Er!”	外部フラッシュメモリ上の CUE データ等の異常

エラー表示 及び“SYSTEM ERROR ~”のエラーが表示された場合は、メーカーまで問い合わせ願います。

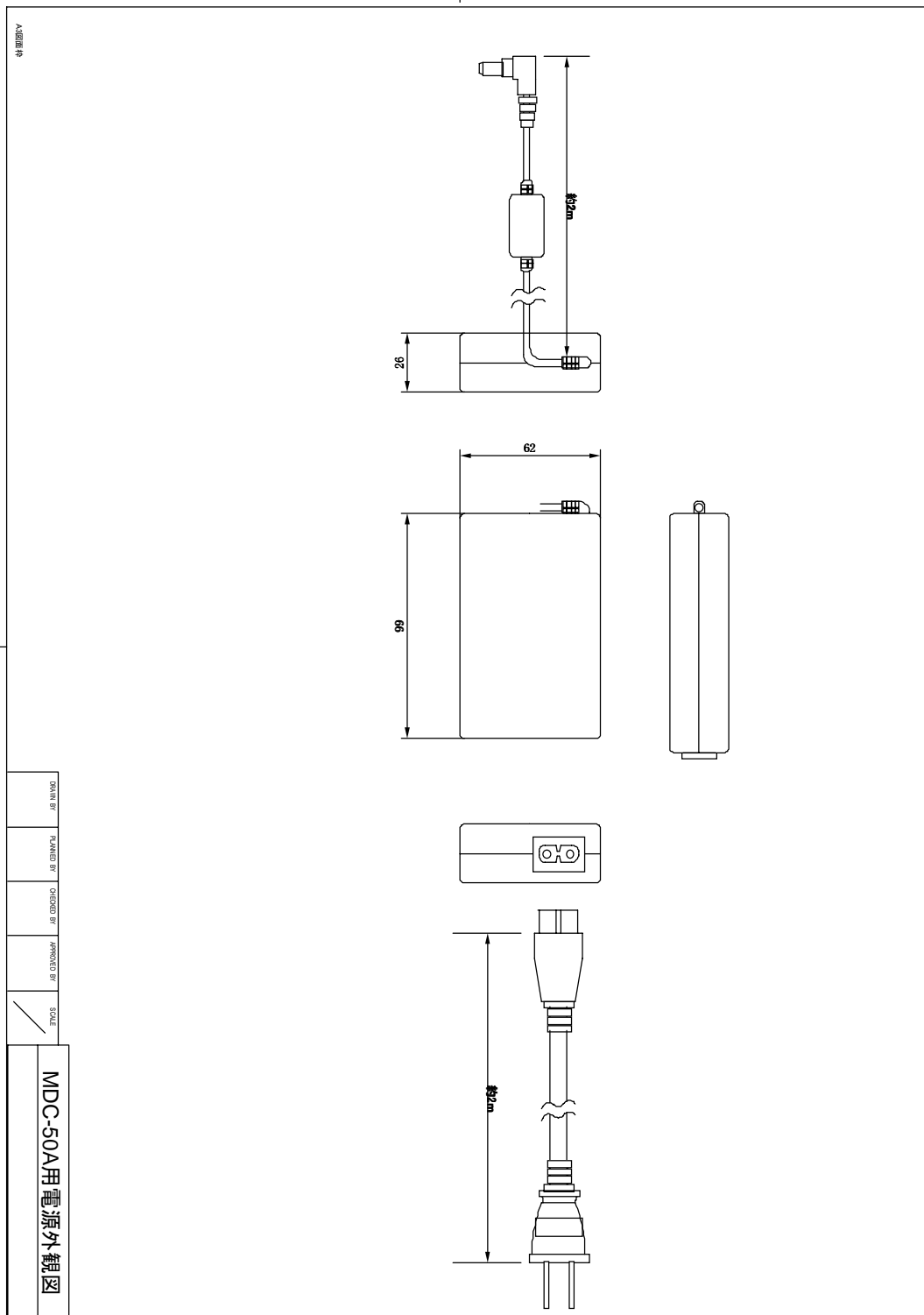
8.仕様

項目	仕様
RS-422 (Dsub9PIN)	4系統 (4ポート使用可能)
GPI (入出力各8ビット、Dsub25PIN)	1系統
LAN (ETHERNET 10/100base RT-45 コネクター)	1系統 (メンテナンス用)
LINK (IEEE1394)	2系統 (未使用)
リファレンス (B.B 信号、BNC コネクター ループスルー)	1系統
寸法 (mm)	146(w) x 284(D) x 98.68 奥 ~ 49.37 手前(H)
質量	約 2 Kg
消費電力	約 10W
電源 AC アダプター	INPUT 100-240V ~ 1.1A 50-60Hz

9.外形寸法



MUSASHI



MUSASHI

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。